

演題

小児の食物アレルギー

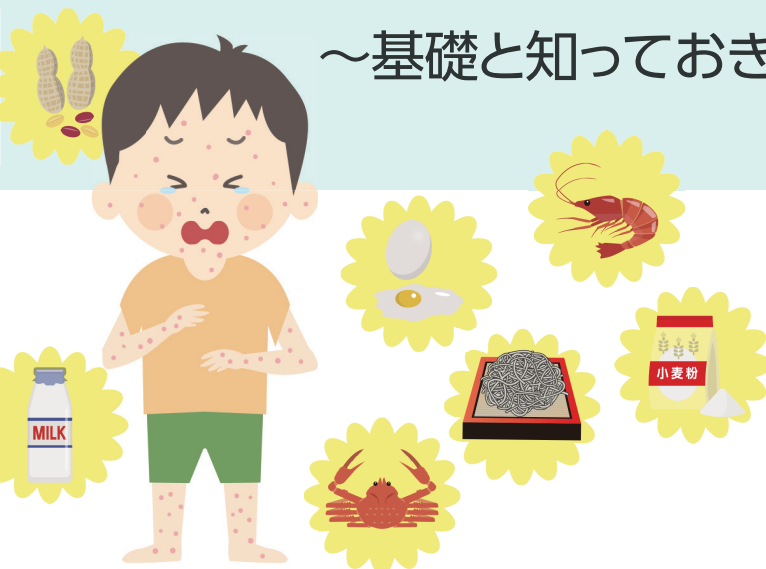
～基礎と知っておきたい最新情報～

2025

7/18

金

※来場型開催



第1部 基礎編

講師

アレルギーセンター
(小児科・思春期科)

助教 赤松 信子 医師

第2部 最新情報

講師

アレルギーセンター
(小児科・思春期科)

助教 千代反田 雅子 医師

食物アレルギーとは、特定の食べ物に含まれる「アレルギーの原因物質（アレルゲン）」に対し、体を守る働きをする「免疫」機能が過剰に反応することで、体に不利益な様々な反応（蕁麻疹、嘔吐や腹痛、咳など）を示す疾患です。

中には「アナフィラキシー」といった重い症状を示し、「アナフィラキシーショック」といった生命を脅かす危険な状態を示す場合があります。食物アレルギーの種類も増えてきています。食物を摂取し2時間以内に蕁麻疹などの症状が出る「即時型」が一般的ですが、普段は摂取しても症状がでないが、運動すると症状がでる「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」、花粉症の患者さんが生の野菜や果物を食べたら口の中や喉がかゆくなる「花粉-食物アレルギー症候群」、牛乳や卵黄を摂取し1時間以上経過したところに嘔吐や下痢、ひどい場合には血便などの消化器症状だけを示す「食物蛋白誘発胃腸症（一般的には消化管アレルギーといいます）」など、様々です。

食物アレルギーの基本は「正しい診断に基づく必要最小限の除去」です。食事は生活の基本であり、正しい知識を理解し実践し、食物アレルギーと向き合っていくことが大切です。今回、食物アレルギーの基礎と知っておきたい最新情報まで、お話しさせていただきます。

日時 2025年7月18日(金) 開場 16:30 開演 17:00 ～ 閉演 18:30(予定)

会場 東京医科大学病院 本館9階 臨床講堂 (最寄駅: 丸ノ内線 西新宿駅)

申込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。